



舟橋聖一様

淀橋区下落合一ノ四三五

大森馬場
東三
宮尾厚景

舟橋聖一様

七月八日夕

宮尾厚景

せう。 涙もせず、いやとも考へないでゐるこ
 と^{唯ち} 遺つたといふことは、やはりねぼりがさ
 うさせ人として面白かつたからでせう。

仕事ヤウ移居にて失礼、

岩野泡鳴傳有難お交。 あれを研亮されたこ
 とは一層愛つたやうな気がします。 実さ
 い岩野といふ人は人として悲壮な思いを悲し
 い人のやうに思はれます。 もうあんな人は出
 ないでせう。 漱石以外に研亮しても人の思い
 が抑さずすが岩野は匂ひがあると思ひます。
 箱口夏向きにていいが表紙は暑いのですわ。
 暑いといへば暑もなく軽井沢です。 月末に私
 はまゐります。

山石野研亮の抱気はやはりあつたのねぼりて